



SUSTAINABILITY REPORT 2021



株式会社エフコムは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

株式会社 エフコム

F-COM Co.Ltd.

ICTソリューションの提供を通じ、お客様のより良いビジネスパートナーとして、経済・環境・社会に積極的に貢献して参ります。



INDEX 【目次】

■ トップメッセージ	3
■ 特集1 【ドリーム・ラボ上伊豆島】(旧上伊豆島小学校活用プロジェクト)	4
■ 特集2 【会津若松市 スーパーシティ構想について】	6
■ 特集3 【Connect 2021 in Koriyama, with UDC(ハッカソン)で最高賞受賞!】	9
■ 特集4 【健康経営に向けた取組について】	10
■ 特集5 【「くるみん」認定を受けました】	12
■ 特集6 【「再エネ 100 宣言 RE Action」参加】	13
■ 地域への貢献(地域社会とともに)	
(1) エフコムベースボールクラブ	14
(2) 中学校での職業人講話	16
(3) インターンシップ	16
(4) ごみ拾い活動について	16
■ 人を育む【エフコムの塾】	
社員教育制度(塾制度)について	17
(1) スマイル塾(F-nine活動)	18
(2) FCOMイノベーター育成塾	19
(3) SE塾	19
(4) PM塾	20
(5) こころ塾	20
(6) 資格取得状況	21
■ 森を育む【エフコムの森】	22
■ 共に育む【エフコムの輪】	
(1) 「エフコムのR&D戦略」について	24
(2) 「一般社団法人あいづ地域振興研究所」の活動	26
(3) 「ふくしま創生 創・蓄・省エネルギービジネス創出研究会」の活動	27
(4) 「NPO法人 福島医療・ヘルスケアICT研究会」の活動	27
■ 信頼への取り組み	
(1) 品質向上(ISO9001)への取り組み	28
(2) ITサービスマネジメント(ISO20000)への取り組み	28
(3) 情報セキュリティマネジメント(ISO27001)への取り組み	28
(4) クラウドサービスセキュリティ(ISO27017)への取り組み	29
(5) 個人情報保護(Pマーク)への取り組み	29
■ データセンターが貢献するサステナブル社会	
(1) データセンターの紹介と環境負荷低減	30
(2) データセンターが高度に共助し貢献する「FCAセンター相互応援コンソーシアム」について	31
(3) ロール紙プリンタ導入(新BP0)について	32
■ 沿革	33
■ ビジネスインフォメーション	42

トップメッセージ

Reborn! f-com (リボーン! エフコム)

～創立100年時も持続可能な企業であるために～

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



エフコムは、国連が2030年までに達成をめざす「持続可能な開発目標 (SDGs)」に賛同し、企業価値を高める活動を積極的に行ってまいります。社員の皆さんとともにSDGsについて様々な角度から考え「誰も置き去りにしない」世界の実現をめざします。

私たちは「チームエフコム」の精神により「Smart thinking for you」の文化を醸成し、「お客様と共に感動を創造する企業」を目指し活動しております。

また、DX (Digital Transformation) の進展により、近未来のサステナブル社会 (Society5.0) への変革が進む中、当社の果たすべき役割は多岐にわたり可能性を秘めていると考えます。

多様化するニーズや社会環境の変化をとらえ「デジタル革新」へ積極的に取り組み、お客様や社会が求める持続可能な新たな価値を実現する変革を起こし、共創によりイノベーションを加速させます。

そのような状況下において、持続可能な開発目標SDGs (Sustainable Development Goals) の取り組みの意味および重要性を理解し取組を加速させることが必要だと考えております。

当社も、SDGsを事業並びに経営へ展開すべく未来志向で何をすべきなのかを考え積極的に取り組んでおります。

毎年発行の当サステナビリティ報告書は、社会における企業価値を考え、社会活動を行っている取り組みを広報してまいりました。

今後は更にSDGs経営やESG (Environment/環境、Social/社会、Governance/企業統治) 投資を、本質的かつ普遍的な企業価値と捉え、その実績が広報できるよう取り組みます。そしてビジネスの力で社会課題を解決し、更なる企業価値の向上へ、より一層の包摂的な社会的責任を果たすべく不断の努力を心掛けてまいります。



代表取締役社長

斎藤正弘

特集 1

【ドリーム・ラボ上伊豆島】 (旧上伊豆島小学校活用プロジェクト)



2021年1月に郡山市の廃校（旧上伊豆島小学校）活用事業者を募集する公募型プロポーザルに応募致しました。審査の結果、2021年3月に当社が優先交渉権者に選定され、8月に契約を締結致しました。「新しい生活様式に対応した、人が学び・働き・遊び・夢を形にする場」をコンセプトに、地域の人々とのコミュニケーションを通して、地域のニーズや課題を捉え、そうした地域のニーズを満たす課題を解消する新規事業の創出を目指す地域起業家やIT（デジタル）人材などを応援・支援・育成し、地域を活性化するとともに、新たな利益の源泉を獲得し、持続可能な地域社会及び施設運営を目指し取り組んでいきたいと考えております。

旧上伊豆島小学校のご紹介

1875（明治8）年9月に、小学校の西にある長橋地区の慈眼寺に開かれた「長橋小学校」を祖とし、平成27年で140周年を迎える歴史と伝統のある学校です。児童数減少から「平成31年3月31日」を以て廃校となりました。
※平成28年4月1日～平成31年3月31日までの3年間は休校

これまでの歩み

- ・活用事業の公募開始 : 2021年1月5日
- ・プレゼンテーション : 2021年3月16日
- ・優先交渉権獲得 : 2021年3月25日
- ・地域住民説明会 : 2021年6月26日
- ・契約／災害協定締結式 : 2021年8月2日



（左：品川郡山市長 右：斎藤社長）
（郡山市のホームページより）

旧上伊豆島小学校・旧鬼生田小学校活用事業の優先交渉権者決定

民間事業者の持つ事業ノウハウを活かした廃校施設の有効活用を図るため、旧上伊豆島小学校と旧鬼生田小学校の活用を希望する民間事業者の公募を行い、契約締結に向けた協議を行う優先交渉権者を決定しました。

審査方法及び審査結果

旧郡山市立上伊豆島小学校・旧郡山市立鬼生田小学校活用事業者選定審議会において、旧上伊豆島小学校活用事業に応募のあった2件及び旧鬼生田小学校活用事業に応募のあった3件について、各応募者の企画提案書、プレゼンテーション及びヒアリング内容等を厳正に審査し、各施設の応募者の中で第1位の点数に達した事業者を優先交渉権者として選定しました。

優先交渉権者

旧上伊豆島小学校と旧鬼生田小学校の優先交渉権者

施設名	所在地	優先交渉権者
旧郡山市立上伊豆島小学校	郡山市熱海町上伊豆島字西畑32番1外	株式会社エフコム

（出所：郡山市のホームページより）

・施設名称 ドリーム・ラボ上伊豆島

・施設用途（予定）

① 地域への支援活動場所の提供

- ・ 体育館、校庭の地域住民への開放
- ・ コワーキングスペース
- ・ インキュベートルーム
- ・ Web配信スタジオ等の設置

② 各種少人数イベント・セミナーの主催及び開催支援

- ・ IT（デジタル）人材育成講座
- ・ 料理教室など

③ 旧上伊豆島小学校歴史資料館(仮称)の運営

ー卒業生が集い、上伊豆島小学校の思い出話に花を咲かせる場所ー

④ 災害時の避難所開放及び災害対策用品保管場所の提供

⑤ 太陽光発電及び蓄電設備の運営（平時は施設の運営に使用し、有事は非常用電源として使用）

⑥ 弊社オフィスとしての利用



・主な事業内容

① 地域コミュニティ活動や地域起業家、新しい働き方（リモートワークなど）の支援

（活動の場の提供、地域事業者マッチング支援など）

② デジタルクリエイション業務

- ・ 「SDGs未来都市こおりやま」と連動する「Society5.0」への貢献
- ・ DX（デジタル・トランスフォーメーション）の実践



・今後の予定

- ・ 2021年11月～3月 建築及び設備工事
- ・ 2022年2月～3月 事務所移転
- ・ 2022年4月1日～ 事業開始予定

○所在地

郡山市熱海町上伊豆島字西畑32番1外

○アクセス

◆国道49号線喜久田信号を左折後、車で直進約5分（約3.5km）



特集 2

【会津若松市

スーパーシティ構想について】

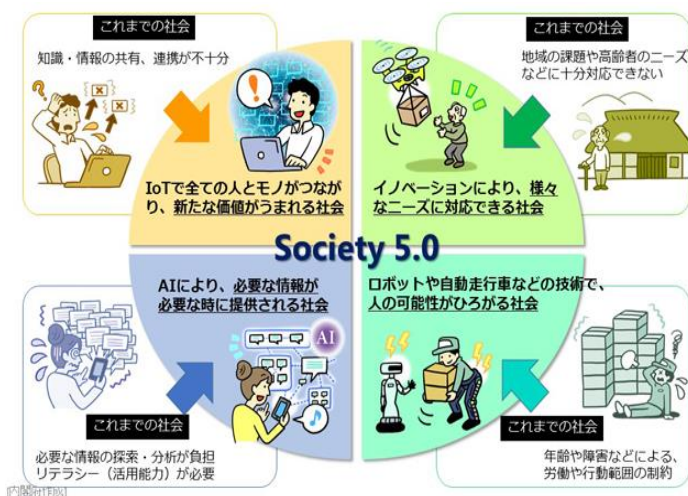
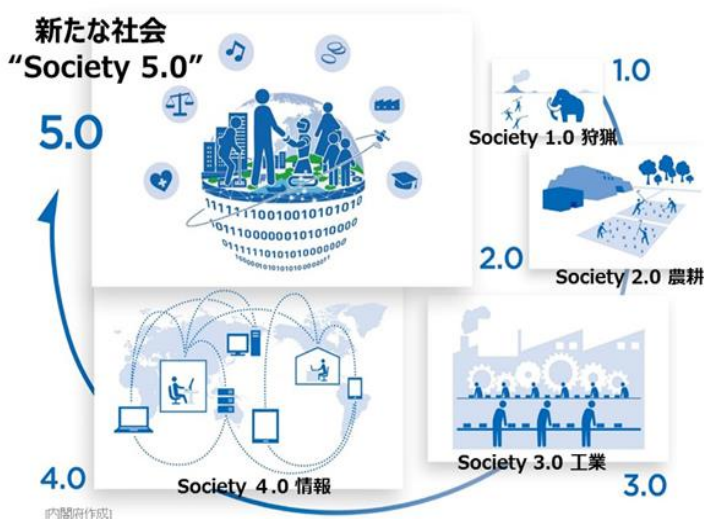
当社では、2019年4月より、会津若松市にあります「スマートシティAiCT」に入居し活動を進めています。スマートシティAiCTは、「スマートシティ会津若松」の取り組みの一環として、会津若松市がICT関連企業の集積拠点として整備し、2019年4月から供用開始されたオフィス環境（及び、オフィス周辺エリアの総称）です。ICT関連企業のみならず様々な業種業態の企業が地域及び首都圏から機能移転し、**地域の「困った」を最先端のJ-Techで、世界に先駆けて解決**しようと、当社を含め入居企業によるコラボレーションからシナジーを生み出し、地域からイノベーションを生み出すべく日々活動しているところです。

Society 5.0で実現する社会

スマートシティ、スーパーシティと共に、Society5.0（ソサイエティ5.0）という言葉をししばしば耳にします。Society5.0は、狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）に続く、新たな社会を指すもので、2016年1月22日に閣議決定された第5期科学技術基本計画において、我が国が目指すべき未来社会の姿として初めて提唱されました。

これまでの情報社会（Society 4.0）では知識や情報が共有されず、分野横断的な連携が不十分であるという問題がありました。人が行う能力に限界があるため、あふれる情報から必要な情報を見つけて分析する作業が負担であったり、年齢や障害などによる労働や行動範囲に制約がありました。また、少子高齢化や地方の過疎化などの課題に対して様々な制約があり、十分に対応することが困難でした。

Society 5.0で実現する社会は、IoT（Internet of Things）で全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、今までにない新たな価値を生み出すことで、これらの課題や困難を克服します。また、人工知能（AI）により、必要な情報が必要な時に提供されるようになり、ロボットや自動走行車などの技術で、少子高齢化、地方の過疎化、貧富の格差などの課題が克服されます。社会の変革（イノベーション）を通じて、これまでの閉塞感を打破し、希望の持てる社会、世代を超えて互いに尊重し合える社会、一人一人が快適で活躍できる社会を目指すものです。



出所：内閣府＞科学技術政策＞ Society 5.0

Society 5.0、それはスーパーシティが実現された世界観

Society 5.0は、仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより実現します。これまでの情報社会（Society 4.0）では、人が仮想空間に存在するクラウドサービス（データベース）にインターネットを経由してアクセスして、情報やデータを手し、分析を行ってきました。

Society 5.0では、現実空間のセンサーからの膨大な情報が仮想空間に集積されます。仮想空間では、このビッグデータを人工知能（AI）が解析し、その解析結果が現実空間の人間に様々な形でフィードバックされます。今までの情報社会では、人間が情報を解析することで価値が生まれてきました。Society 5.0では、膨大なビッグデータを人間の能力を超えたAIが解析し、その結果がロボットなどを通して人間にフィードバックされることで、これまでは出来なかった新たな価値が産業や社会にもたらされることになります。つまり、地域の「困った」を最先端のJ-Techで課題解決し持続可能な社会を実現するスーパーシティは、Society 5.0が具現化した世界観です。

地域の「困った」を最先端のJ-Techが、世界に先駆けて解決する。

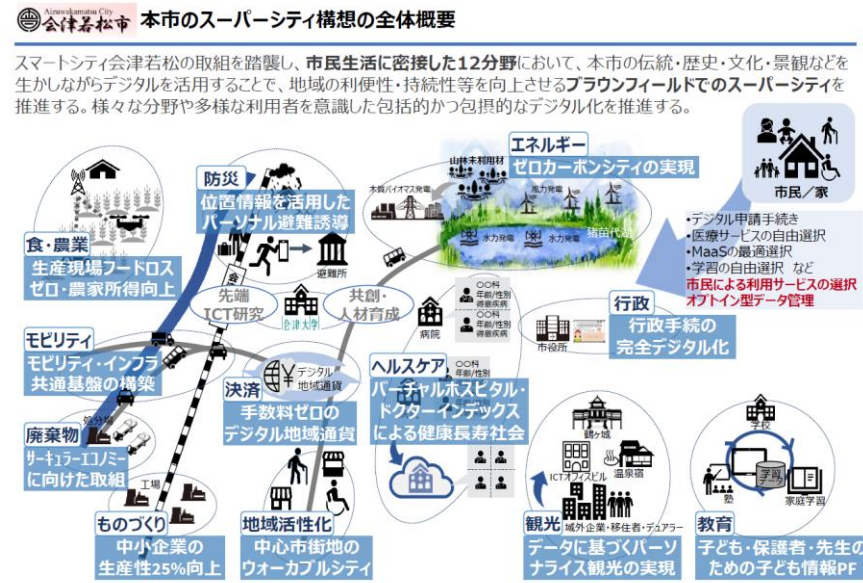
「Society 5.0で実現する社会」でも述べたとおり、AIやビッグデータを活用し、社会の在り方を根本から変えるような都市設計の動きが、国際的には急速に進展しています。

例えばスペインのバルセロナでは、Wi-Fiを都市のICT共通基盤として整備し、生活に変革をもたらすプロジェクトが2000年より進行しています。また、ドバイやシンガポール等では、既存の都市を造り変えようとするブラウンフィールド型の取り組みが進んでいます。日本では、国家戦略特区制度を活用しつつ住民と競争力のある事業者が協力し、世界最先端の日本型スーパーシティを実現しようというのが「スーパーシティ構想」です。



会津若松市のスーパーシティ構想

会津若松市では、さまざまな分野でICT（情報通信技術）を活用し、ICT関連産業の集積や新たなしごとづくり、ICTを活用した市民の生活の利便性向上などを目指して、「スマートシティ会津若松」を推進してきました。取組の中には、技術的に可能であっても法令の規制があるため、例えばオンライン診療など、発展的に事業を行おうとしても実施が制限されてきたものもあります。



国のスーパーシティ構想は、地域を限定して現在の法令の「規制改革」を行う（国家戦略特区制度）ことで、先行的により良い暮らしを実現していく取組であることから、市の取組をさらに発展・深化させることができるものと考え、2021年4月16日に、スーパーシティ構想公募（「スーパーシティ型国家戦略特別区域の指定に関する公募」）へ応募しています。 ※2021年10月28日現在

スーパーシティ構想に関する連携支援事業者：スーパーシティAiCTコンソーシアム

国家戦略特別区域基本方針における指定基準として「データ連携基盤整備事業及び先端的服务を実施する主要な事業者の候補（競争力のある事業者）」が、地方公共団体の公募により選定されていること」とされていることから、会津若松市では、2020年11月26日に支援事業者の公募を行い、当社も参画しているスーパーシティAiCTコンソーシアムが選定され活動に至っています。



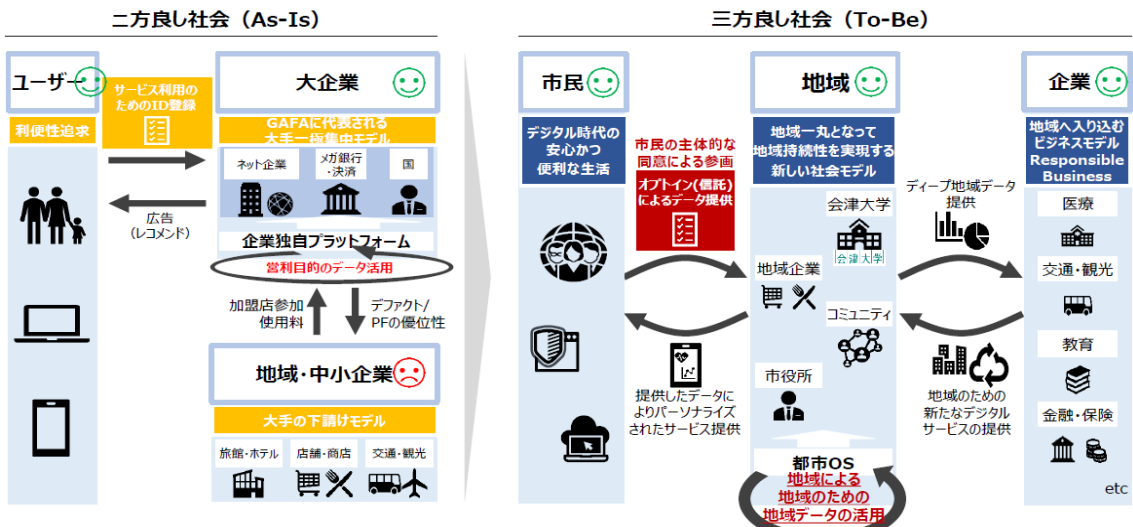
会津若松市が復興事業のシンボルとして2011年より始めたスマートシティプロジェクトも10年を迎え、現在は日本のトップランナーとして会津モデルとされていますが、実質日本のモデルとなるべく今後の10年を費やしスーパーシティへのステージアップを実現することを趣旨に、2021年7月に一般社団法人スーパーシティAiCTコンソーシアムが設立されました。

参加企業数：正会員40社、サポート会員24社

※2021年10月28日現在

三方良しの地域社会貢献を目指して

スーパーシティ構想への取組みでは、市民による地域へのオプトイン（信託）に基づくデータ提供を起点とし、地域・市民・企業にメリット、納得感がある「三方良し」の考え方をベースとした地域社会の実現を目指し、更なる企業価値の向上へ、そして一層の包摂的な社会的責任を果たすべく取り組んで参ります。



出所：会津若松市＞スマートシティ＞ 政策分野41_行政運営

特集 3

【Connect 2021 in Koriyama, with UDC(ハッカソン)で最高賞受賞！】

エフコムチーム最高賞

街を良くするアプリ 郡山で発表・審査



家の食材可視化

食品ロス
ゼロ提案

自分たちの暮らす街を良くするアプリを開発するイベント「Connect 2021 in Koriyama with UDC (ハッカソン)」は、十一月二十七日、二十八年の西日、郡山市のビッグアイで開催された。郡山市の市長賞を受賞した。EFCOMチームは、最高の郡山市市長賞に、エフコムのチームは、リンクストックスの作品「イトオール」が選ばれた。

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会の主催。入賞チーム、作品は次の通り。

六チーム計三十人が、エフコム、リンクストックス、イトオール、マタを活用して地域課題を解決するアプリの開発に取組んだ。

完成後にそれぞれアプリの内容を発表し、専門家に審査を受けた。

市長賞のイトオールは、家庭にある食材を可視化すること、無駄なく使い切り、家庭から出る食品ロスをゼロにすることを掲げた。

開発したアプリを発表する参加者

自分たちの暮らす街を良くするアプリを開発するイベント「Connect 2021 in Koriyama, with UDC(ハッカソン)」において、エフコムチームが最高賞の郡山市長賞を受賞しました。

<Introduction>

例年開催されているコンテスト「UDC (アーバンデータチャレンジ)」はICTやオープンデータを活用して地域の課題を解決する一般参加型のアプリ開発コンテストです。

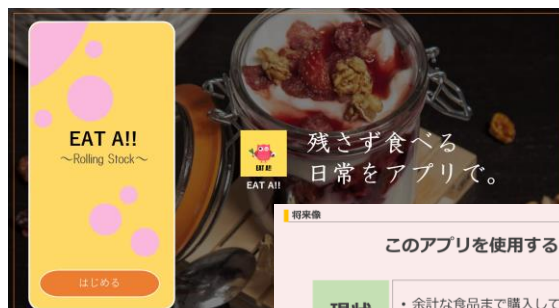
今回は、

「Welcome! My Town～安心して暮らせる町へ」というテーマで、11月27日(土)～28日(日)と2日間にわたり、郡山にあるビックアイの会場&オンラインでハイブリット形式にて実施されました。

<Application>

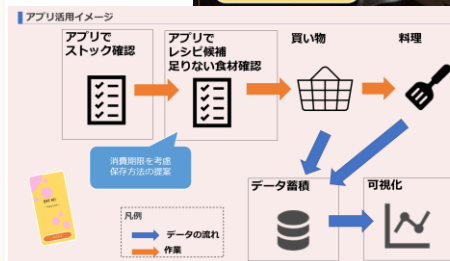
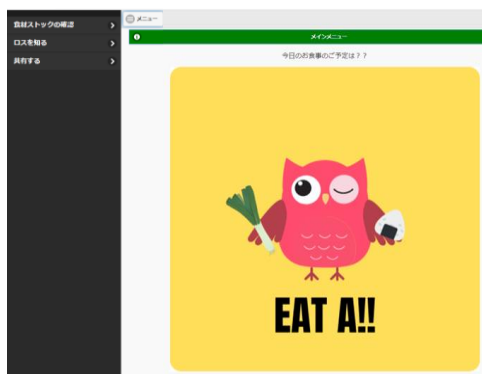
「郡山市は一人一日当たりのごみ排出量が日本一多い!」という点に着目し、「食品ロス削減」をテーマに食品管理アプリを作成しました!

チーム名 Team Rolling Stocks
作品名 EAT A!! (イトオール)



残さず食べる
日常をアプリで。

福島民報 2021年12月1日掲載



<Members>

Sさん@プロジェクトマネジメント
Dさん@デスター
Eさん@プログラマー
Kさん@データ管理
Nさん@デザイン
Sさん@企画



<Comments>

役割分担、アイデア出し、作品発表までバランス良く、短期間ながら充実した活動でした。ポイントポイントで確認し合える、非常に良いチームになれたと感じています。



特集 4

【健康経営に向けた取組について】

当社は、経済産業省が「優良な健康経営を実践している企業であること」を認定する制度である「健康経営優良法人 大規模法人部門」に2020年度より2年連続で認定されております。「健康経営」とは社員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的活動を実践することです。エフコムの企業理念である「お客様と共に感動を創造する」を実現するためにも社員への健康投資を行うことは重要なことであるとの考えのもと健康経営への取り組みが始まりました。ここでは斎藤社長の健康宣言にある重点活動方針を受けた取り組みをいくつかご紹介します。

【ワーク・ライフ・バランスの実現】

仕事と仕事以外の生活との調和を取るためには、時間外労働の削減、年次有給休暇の取得促進、育児休業の取得など社員相互に尊重し協力して働く環境を構築することが重要です。フレックスタイム制度や時差出勤、在宅勤務、サテライトオフィス勤務など状況に応じた勤務形態を適応しております。また一定時間数の時間外勤務を行うと本人および管理職にアラートメールが送信され、早めに是正するための処置が取られています。

年次有給休暇は5日以上取得することが義務化されたことを受け、**夏季特別休暇とあわせて最大9連休**にすることを推奨するなどリフレッシュに取り組んでいます。

2021年は**5名が男性育児休暇を取得**しました。期間も数週間～1年間と様々です。現場での育児休暇取得に対する理解が進み取得しやすい環境が整ってきました。女性社員の出産後職場復帰は100%です。復帰後、小学校に就学するまでは時短勤務を行う方が多くなっております。

【男性育休取得者の声】

**第10回！
F-resch イクパパ通信**

『育児休業中の方、お元気かな？』
今日は、さん
(FZOM 第一グループの男)です！

Q1. 育児休業の取得を決めた経緯や、取得期間や復帰後などに教えてください！

A. 二本松市では育児休業取得すると、保育園に3歳未満の子を預けられなくなる決まりがあります。
(2人目を預けた後にわかりました...)。よって、生まれてくる子と上の子の面倒を妻一人が同時に抱える状況でありませんので、復帰後に行う上の子の手を預けられるようになる時期まで私も育児に専念することを決めました。期間は9ヶ月間です。

長い期間であったため正直、上長に相談するに勇気が入りましたが事情を真剣に聞いてくださりスピーディーにサポートして頂きました。
スムーズに復帰後でも上長のサポートをはじめ、チームリーダー、引き継ぎ担当者の協力のおかげです。本当に感謝しています。

Q2. お子さんの生活や、育児休業取得後の環境を教えてください！

A. 上の子で育児をマスターした気になっていましたが、そんなことはありませんでした。(笑)
妻と、物事を考えていく必要はない。第一子の時に目の前で見てくれていた妻が、上の子の育児も一人で抱えきれなくなりました。上の子と違うところにも新しい発見があったり苦労したりと新鮮で良いですね。また、上の子の面倒を見てくれるようになったのでとても助かっています。

ただ、コロナ禍の状況では遊び場も減り、いかにリフレッシュさせてあげられるか大変苦労しています。最近はお家でキャンプが我が家のトレンドです。
仕事復帰してからも楽しみたいと思っています。

Q3. これから育児休業を取得されるイクパパやイクママに向けてアドバイスをお願いします！

A. 仕事を離れて育児に専念できる環境を頂いたことはとても貴重な経験でした。育児のための休暇ですが、様々な事柄に対して整理できたり改めて大事なことに気づけたりしました。また、家族との会話が増えただけでなく、仕事を理由に今まで疎かにしていたところを反省できる機会でもありました。取得できて本当によかったと感じています。
取得期間中は上長の状況に応じて様々なサポートがありますが、男性の育児にはその臨機応変さが魅力の一つだと思います。是非とも育休取得をお勧めいたします。

P 1 2

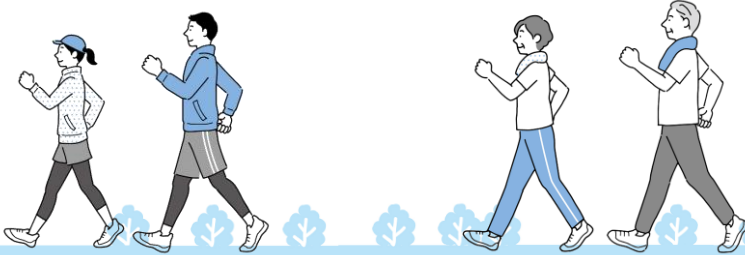


妻一人で生まれてくる子と長女の面倒を同時に見る状況下であり、長女を保育園に預けられるようになる時期まで私も育児に専念することを決めました。育休期間は9ヶ月間です。正直、育休取得に伴う担当業務への影響については何よりも不安を抱いていました。しかし、上長が事情を真剣に聞いてくださり、スムーズに業務調整することができ、関係各位には大変感謝しております。

仕事を離れて育児に専念できる環境を頂いたことはとても貴重な経験でした。育児のための休暇ですが私の場合、様々な事柄に対して整理できたり改めて大事なことに気づけたりしました。また、家族との会話が増えただけでなく、仕事を理由に今まで疎かにしていたところを反省できる機会でもありました。取得できて本当によかったと感じています。取得内容は各人の状況に応じて様々だと思いますが、男性の育休は特にその臨機応変さが魅力の一つだと思います。是非とも育休取得をお勧めいたします。

【健康イベント】

21年度に計画していた3つの健康イベントは残念ながら新型コロナウイルス感染症の影響で開催することはできず健康経営推進WGメンバー一同、悔しい思いをしました。唯一スマートフォンのウォーキングアプリを使い企業・事業所対抗戦に参加しました。参加者数はなんと76名と社員の健康意識の高さに改めて驚くとともに、結果は総歩数部門で2位となり表彰されました。22年度はドリーム・ラボ上伊豆島が開所されますので体育館を利用した健康イベントも計画していきたいと思ひます。



【健康管理の充実・健康リテラシーの向上】

病気になると仕事の生産性が低くなり業務に大きな影響を与える可能性があります。少しでも病気を早く発見し治療を促すことが重要と考え、健康診断と健康指導を充実する施策を実施しております。特に健康診断時には癌に関するオプション検査の補助、インフルエンザ予防接種の補助（扶養家族含む）を行っております。

全社員が生き活きと活躍する「チームエフコム」を目指しています！

健康診断の受診率は過去3年100%を維持し、検診結果で要精密検査や要治療と診断された社員の精密検査受診率も約90%と高い水準を維持しております（※2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で通院が制限されており低い状況となっております）。

有給の取得を促すために、夏季特別休暇と有給を合わせ最大9日連続で休むよう推奨しております。

	2018年度	2019年度	2020年度
定期健康診断受診率	100%	100%	100%
精密検査受診率	92.9%	89.6%	72.6%
ストレスチェック	89.9%	92.1%	92.0%
平均有給休暇取得率	50.0%	58.4%	56.2%
平均有給休暇取得日数	10日	10日	10.4日



ぶらさがる前に
手の消毒を！！

健康経営推進WG



【健康経営推進体制】

社長が健康経営責任者として健康経営を推進します。各拠点には健康経営WGの推進メンバーがあり、社員一人ひとりが健康意識を高め、積極的に健康増進に努める社内風土を醸成する活動の企画や運営を行います。

健康経営推進体制図



特集 5

【「くるみん」認定を受けました】

【健康管理の充実・健康リテラシーの向上】

当社では2017年度より中期事業計画のテーマの一つとして「働きたい会社を目指した企業価値の向上」掲げ、働き方改革推進会議を立ち上げました。取り組みの一つとして「仕事と家庭を両立し、誰もが活躍できる環境づくり」において2018年4月から2021年3月まで次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん」認定を目指してきました。当社の取り組みが認められ、2021年12月13日に福島労働局において認定通知交付式が行われ、斎藤社長に認定通知が授与されました。



● 行動計画の目標達成状況

- (1) 配偶者が出産をした男性社員に、個別に育児休業制度について周知するために、休業期間中の処遇に関する資料や育児休業取得者の体験談をまとめた資料を作成し、周知・説明を行った結果、男性社員5名が育児休業を取得した。女性社員の育児休業取得率は100%となった。
- (2) 育児・介護休業法、雇用保険法に基づく育児休業給付、労働基準法に基づく産前産後休業等諸制度について、社員の理解度を高めるための資料を作成し、社内イントラネットでの情報提供を実施した。
- (3) 小学生以下の子どもを対象としたプログラミング教室を各地域で開催し、地域活性化とともにIT人材育成に寄与した。

● 目標以外の取組内容

- ・所定外労働の削減のため、毎週水曜日をノー残業デーとして設定している。



特集 6

【「再エネ 100 宣言 RE Action」参加】

エフコムグループは2021年10月1日より、 再エネ100宣言 RE Action に参加しました

再エネ 100 宣言 RE Actionとは

再エネ100宣言 RE Actionとは、企業、自治体、教育機関、医療機関等の団体が使用電力を100%再生可能エネルギーに転換する意思と行動を示し、再エネ100%利用を促進する新たな枠組みです。

【背景は地球温暖化施策】

2016年に発効されたパリ協定において、できるかぎり早く世界の温室効果ガス排出量をピークアウトし、21世紀後半には、温室効果ガス排出量と（森林などによる）吸収量のバランスをとることが提言されました。再生可能エネルギーの活用は、今、ワールドワイドでの重点課題となっています。

エフコムグループでは、2050年度を目標に、グループ内で使用する電力の全てを再生可能エネルギーに転換するべく活動を進めてまいります。

【再エネ手配方法】

再エネ手配方法は現在のところ、自家発電、再エネ電力メニューの購入、再エネ電力証書の購入の3手法があげられます。

自家発電については、現在、福島データセンターで太陽光による発電を実施し施設における需要の一部を賄っています。今後は、ドリーム・ラボ上伊豆島にも太陽光パネルを新設する方向で検討中です。

再エネ電力メニューの購入としては、地域再エネ小売電気事業者との調整を進めており、2022年度からの調達を計画し推進してまいります。

【手法1】 自家発電

再エネ電源を専用線等で接続し、直接的に再エネ電力を調達。



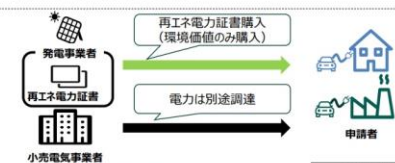
【手法2】おすすめ 再エネ電力メニューの購入

小売電気事業者等が提供する「再エネ電力メニュー」を購入。



【手法3】 再エネ電力証書の購入

環境価値だけを「再エネ電力証書」という形で購入。（グリーン電力証書、再エネ電力由来クーポンクレジット）



上記手法1～3は組合せて調達することが可能です。

【出典】環境省http://www.env.go.jp/air/saiene/saiene_kaisetsu.pdf

再エネ100宣言

RE Action

RE Actionには、2021年12月20日現在でエフコムグループを含む合計216団体が参加、総消費電力量は約1,344GWhとなっております。

エフコムグループは、電力の地産地消と地球温暖化防止の観点においても地域と社会に貢献してまいります。

地域への貢献（地域社会とともに）

（１）エフコムベースボールクラブ

2021年度より、エフコムベースボールクラブが始動しました！

これまで富士通アイソテックベースボールクラブとして活動していましたが、その掲げていた理念を継承し、エフコムベースボールとしても『強いチームではなく、愛されるチームづくり』を目指すと同時に、ボランティア活動など「地域への貢献・次世代の育成」も継続して参ります。



【クラブ立上げの想い】

2011年の東日本大震災以降、野球はおろか外で遊ぶ子供達が激減している現実から逃げることなく

「野球で福島を元気に！」をモットーに、野球で社会貢献出来ないか？ 地域の活性化に繋がられないか？

そんな想いで、志をひとつにした数名のメンバーとそれを支えるサポーターで、強いチームではなく愛されるチームを目指し、立ち上げました。

福島県には企業が保有する社会人硬式野球チームはひとつもありません。

社会経験豊富な選手、野球を学問として勉強してきた野球人が地域に根付き、次の世代が育っていく。

そんな循環型のしくみが出来れば、福島県の野球もレベルが向上し、更に地域社会を担う社会人が育成され、地域の活性化に繋がると信じております。

エフコムベースボールクラブ総監督
西牧 正晴

次世代の地域社会を担う社会人の育成



ベースボール
↓クラブHP↓



2021年 試合結果



5月

◆第24回JABA福島市長杯争奪野球大会 優勝

7月

◆第12回JABAスポニチ福島支局杯社会人選抜野球大会 優勝

8月

◆第13回JABA福島県野球協会長杯
兼 第7回JABA東北クラブカップ福島県大会 優勝

9月

◆第7回JABA東北クラブカップ大会 優勝

10月

◆第15回JABA毎日新聞社杯社会人選抜野球大会 優勝



(2) 中学校での職業人講話



福島市内の中学校にて「働く社会人に聞く会」が開催され、社会人代表としてお招きいただき、1年生約40人の前で「IT業界」や「エフコムの事業紹介」「将来の夢」について話をさせていただきました。

目をキラキラと輝かせながら、興味を持って一生懸命話を聞いてくれている姿がとても印象的でした。開催後には、生徒さん一人一人が丁寧に書いてくれたお礼状が届き、大変嬉しく思いました。またお会いできる機会を楽しみにしております！このような貴重な機会を頂き、誠にありがとうございました。

<感想>頂戴したお手紙からの抜粋

- ・システムエンジニアの魅力と苦勞の話が興味深かった。コミュニケーションの難しさや、社会の変化に適応するために勉強し続けたいいけないなど苦勞も沢山あるけれども、達成感やお客様に喜んでもらえる仕事だというのが魅力だと感じた。
- ・将来の夢は、好きなことをたくさん見つけて、その中から行きたい道を自分で考えて選択していけばよいという話が印象に残りました。将来の夢がこれからもっともっと増えていくのが楽しみです。たくさん好きなことを見つけて良い道に進んでいきたいと思いました。

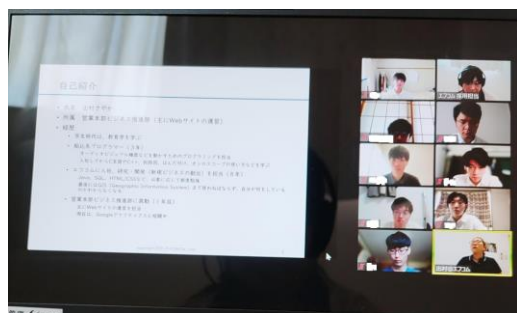


皆さんからいただいた
手書きの御礼状

(3) インターンシップ

当社では、夏季・冬季休暇を利用し、学生向けの「インターンシップ」をオンラインにて実施しています。研修は、「自己分析」&「システムエンジニアにとって一番大事なことは何か？」をグループワーク形式にて体感する内容となっています。

今年度も、オンライン研修を入門編、来社型を「実践編」として、実践編ではシステム開発部門の社員と一緒に実業務を体験していただきました。参加者からは「システムエンジニアの仕事のイメージが具体的になった」「集中力が大事な仕事だと感じた」「常日頃から視野を広く持つことが将来に繋がるということを実感した」など、様々な感想を頂きました。



オンラインインターンシップ
【入門編】グループワークの様子

(4) ごみ拾い活動について

社員間におけるコミュニケーションの促進と、日頃の運動不足解消も兼ねて、有志によるゴミ拾いウォーキングを実施しています。福島市・郡山市の各事務所にてそれぞれ定期的に開催し、2020年度には計20回、延べ253名が参加しました。



人を育む【エフコムの塾】

当社の重要な経営資源である『人財』が活躍するための塾を定期的に開催しています。お客様のニーズにお応えするため、開発やプロジェクト管理スキルだけではなく、ヒューマンスキルの向上にも重点を置き、『人間力』の向上を目的に社員自らが講師となり、チームで成長できる取り組みを推進しています。

【教育方針】

- ◆企業理念と行動指針に基づく自発的行動と統制のとれた組織体作りを目標とする
- ◆ベンチャー精神溢れる優良企業への発展を目指す
- ◆上司・部下が行動、能力、業績の目標を共有し、それらを成長指標とする
- ◆自己啓発と自立型人材の育成を目指す

◆エフコムスマイル塾(F-minine活動)

エフコム内女性WG「F-minine活動」が中心となり、全社員に向けて健康やキャリアデザイン、美化活動など職場環境改善へ取り組んでいます。

◆F COMイノベータ育成塾

「まだ世界の誰も気づいていない『新しい価値』を提案し、顧客の日常体験を180度変えること」と定義し、どのようなお客様（顧客セグメント）に、どのような新体験の提供が可能か（価値提案）に焦点を当て、イノベーションの創出に挑戦しています。

◆PM塾 SE塾

「プロジェクトの成功はお客様の幸せ」と考え、プロジェクトを成功するための基礎知識や経験を伝えるPM塾、そして若手育成を目的とし開発基礎知識を深めるよう取り組んでいます。

◆DX塾

企業が避けて通れないデジタル技術による業務やビジネスの変革をビジネスチャンスと捉え、当社での取り組み事例や外部講師による勉強会を開催し、自身の業務への適用を模索するための機会として取り組んでいます。

◆こころ塾

『こころを込めて育成に取り組む』

『こころのこもったお客様対応を』

を実現するために必要なヒューマンスキル、ソリューションスキルの向上に取り組んでいます。

【社内教育制度体系図】



(1) エフコムスマイル塾(F-minine活動)

◆「人生100年時代を生き抜くためのマネー講座」開催

第4回、第5回と2回にわたり事前アンケートでも要望が多かった「マネープラン」をテーマにエフコムスマイル塾を開催いたしました。

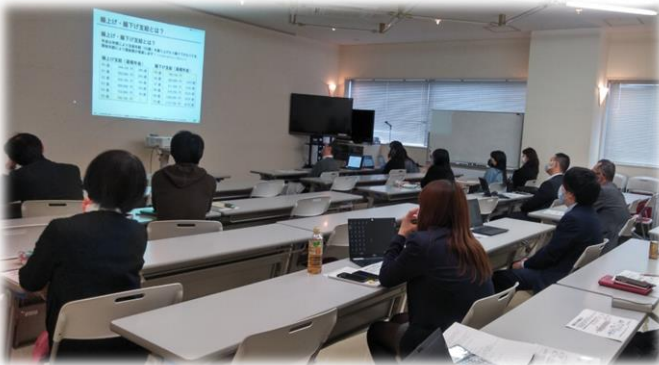
第4回の開催からTeamsを利用した初のオンラインによるセミナー形式とし、会議室参加と併用することで新型コロナウイルス対策や長時間離席することが難しい方でも気軽に参加できるセミナーとなりました。

第4回、第5回ともに講師としてファイナンシャルプランナー 鈴木 淳也様よりお話をいただきました。予想よりも多くの方に参加いただき、男女問わず関心が高いテーマであることを再認識いたしました。

今後も社員の皆様の役に立つセミナーなどを企画・運営してまいります。



iDeCo普及推進キャラクター
「イデコちゃん」



第4回スマイル塾受講の様子

【第4回 講座内容】

- 老後2000万円問題とは？
- 老後のはじめの一步～もらえる年金額は？～
- 理想の人生を送るために～ライフプランとは？～



【第5回 講座内容】

- 老後に向けての資産形成～iDeCo？NISA？～
- 経済安定のためのポイントとは
- 保険の選び方



つみたてNISA普及推進
キャラクター
「つみたてワニーサ」



第5回スマイル塾受講の様子

◆「女性の抱える健康問題について学ぶオンラインセミナー」受講のススメ

女性の健康保持・増進に向けた取り組みとして、女性社員だけではなく、女性の家族をもつ男性社員の方なども含めた全社員に向けて「女性の抱える健康問題について学ぶオンラインセミナー」（スポーツ庁委託事業 女性アスリートの育成・支援プロジェクト『女性アスリート支援プログラム』）の受講案内を行いました。

他人になかなか相談できない悩みでもある”女性の健康問題”。男女関わらず少しでも多くの方に知っていただくため、F-minineWGでは今後も様々な啓蒙活動を進めて参ります。

【主な受講可能テーマ】※他10テーマ以上受講可能

- 婦人科診察の実際と子宮がん検診/生理用品の種類と使い方
- 妊娠と不妊症 治療も交えて
- 妊娠・産後
- 子宮の病気 ～子宮筋腫と子宮腺筋症～
- 知っておきたい更年期のいろいろ



(2) FCOMイノベーター育成塾

◆ 2021年度は、提案力の向上に焦点を当てた内容にシフト

2018年度の活動開始以降、3年間で28個の新ビジネスのアイデアを創出してきましたが、4年目となる今年度は、提案力の向上に焦点を当てた内容に一新しました。

具体的には、参加者全員で同一企業のビジネスモデルについて『ビジネス・モデル・キャンパス』を用いて分析、当該企業のニーズや課題を探り、そのニーズ・課題に則した提案内容をまとめることを目指す内容となっています。まとめた提案内容は無記名で掲示し、社員からの投票で「顧客に提案したいで賞！」を決定する予定です。（投票は、2022年2月実施予定）

提案内容は、「デジタル・イノベーション（※）」を前提に検討するルールとなっています。どのような提案が生み出されるのか、今からとても楽しみです。

【デジタル・イノベーションとは？】

「自社（顧客）の技術や事業」に「デジタルと総称される技術やデジタルを活かすアイデア」を掛け合わせて、新たな価値を創出することです。他のイノベーションとの違いとしては、既存事業との掛け算で考えることができる、短期間（1～3年）で成果を出すことができる、デジタルの特徴（無制限、リアルタイムなど）を活用できるといった利点があげられます。

（プレジデント経営企画研究会編

『Why Digital Matters? “なぜ” デジタルなのか』（2018年、プレジデント社）より）



(3) S E 塾

◆ S E 塾概要

2016年より若手S Eのスキル向上を目的に隔月程度の勉強会を実施しています。

若手S Eを対象にした開発基礎講座や、経験のある内部社員による仕事の進め方や事例紹介など、様々な内容の勉強会を開催しています。

◆ S E 塾の目的

- (1) 仕事の考え方・進め方(セオリー)を共有・継承する。
- (2) 知識(技術・事例)を共有・継承する。
- (3) 論理力・コミュニケーション力を強化する。(継続的な鍛錬)
- (4) 講座内容や講座後の意見交換により所属間の親交を深める。
- (5) 病院のしくみや医療情報システムの基礎知識等のヘルスケアビジネスに必要な基本スキルの共有



◆ 日程とテーマ

日程		テーマ
第1回	2021年 7月28日 (水)	データベース基礎
第2回	2021年 9月22日 (水)	システム要件定義の基礎
第3回	2021年11月24日 (水)	病院の基礎知識／医療機関における医療情報システム
第4回	2022年 1月26日 (水)	外部講師による講座
第5回	2022年 3月16日 (水)	ソフトウェア品質確保の基本

(4) PM塾

◆PM塾の概要

2019年度より、プロジェクトを成功裏に収めるための基本知識の習得、勘所の理解、悩みの相談の場として、現場の最前線でプロジェクトマネージャとして活躍している社員が講師となり、自身の経験を交えながら、隔月程度に1回、1時間半の勉強会として『PM塾』を行っております。

◆PM塾の目的

- (1) プロジェクト管理の基本知識（セオリー）と技法（お作法）の習得
- (2) 実際のプロジェクト推進事例によるノウハウの共有と横展開
- (3) プロジェクトを共にする部門間（SE間/現業間）の繋がりの強化



◆日程とテーマ

日程	テーマ
第1回 2021年 8月25日（水）	医療ソリューション部プロジェクト事例紹介
第2回 2021年10月27日（水）	プロジェクトの実行とコントロール
第3回 2021年12月22日（水）	外部講師による講義
第4回 2022年 2月16日（水）	プロジェクト管理事例共有

(5) こころ塾

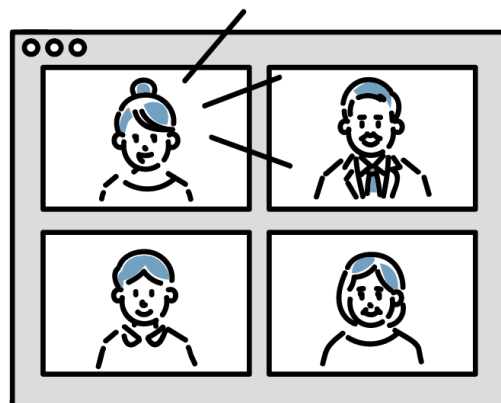
◆こころ塾の概要

こころ塾は「基本に戻る」「スキルボトムアップ」をテーマとして毎年、年間カリキュラムを作成し社内の有スキル者を講師として開催しており、2019～2020年度においては14講座を各2回ずつ開催し、延べ約300名が受講しております。各講座のなかでもヒューマンスキルの向上には特に力をいれており、ビジネスマナー、コミュニケーション、電話対応、ビジネスメールの各実践講座は毎年開催し実践でのヒューマンスキルの浸透をはかっております。

2021年度はネットワークセキュリティなどのテクニカル講座や社内事例を含めたソリューション勉強会、DX人材育成を目的としたマインド醸成からのDX講座の開催も計画化して活動を進めております。

◆こころ塾という名前について

人を育てるためには”こころを込めて！”
そして”心のこもったお客様対応”をするためには
ヒューマンスキル・テクニカルスキルを向上させ、
より良いサービスとソリューションをご提供することが大切。との趣旨から命名しています。



(6) 資格取得状況

当社の社員は自己啓発により個人の目標を達成すべく、様々な資格取得に挑戦しております。また、当社は受験料補助・講習会受講料負担・合格一時金支給など、社員のキャリア形成にも有益な各種資格の取得支援を積極的に行っています。

【資格取得状況】

2021年10月現在

資 格 名			人数	資 格 名			人数
情報処理技術者試験	システム監査技術者		2	メーカー系資格	オラクルマスター (ゴールド/シルバー)		16
	ITストラテジスト		2		シスコ技術者認定(CCNA,CCNP)		13
	システムアーキテクト		4		Vmware認定		7
	プロジェクトマネージャー		4		マイクロソフト(MCP)		40
	ネットワークスペシャリスト		9		オラクル認定 javaプログラマー		9
	データベーススペシャリスト		6	その他の	中小企業診断士		1
	情報処理安全確保支援士		9		米国PMI認定PMP		1
	情報セキュリティスペシャリスト		15		医療情報技師能力検定		14
	ITサービスマネージャー		5		教育情報化コーディネーター		8
	応用情報技術者		36		ITマスター		6
	基本情報技術者		147		2級キャリアコンサルティング技能士 (国家資格)		1
	情報セキュリティマネジメント		24		キャリアコンサルタント(国家資格)		4
	ITパスポート		126		ITIL Foundation(ファウンデーション)		27
監査/審査/その他	ITコーディネーター		1		CompTIA		53
	内部監査士(補)		1		ネットワーク情報セキュリティーマネージャー (NISM)		1
	プライバシーマーク審査員 (補含)		3		.Com Master(シングル/ダブルスター)		3
	ISO27001審査員(補)		3		電気通信工事担任者(総合/デジタル/アナログ)		6
	ISO9001審査員(補)		1		電気工事士(二種)		5
	ISO14001審査員(補)		1		日商簿記検定(1級/2級)		28
	公認システム鑑定人(補)		1		秘書検定(1級/2級)		19
	公認情報セキュリティー監査人 (補)		1		ビジネスキャリア検定		58

森を育む【エフコムの森】

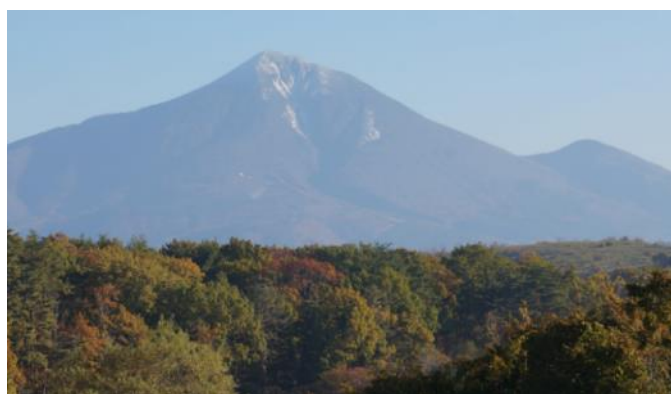


ロケーションの紹介



- 所在地：会津若松市河東町
- 広さ：44.5ha(東京ドームの9.5倍)
- 樹種：針葉樹と広葉樹の混合林

磐梯山の南西山麓のとても静かな場所にあるのが、エフコムの森です。この森の意味は、環境共生というやや難しいテーマではなく、単に社員やその家族の憩いの場として親しんでもらう事にあります。森は針葉樹、広葉樹からなり、小川や沼もあるまさに憩いの場としては最高のロケーションです。



水が豊富

エフコムの森には小さな綺麗な小川が流れており、いずれは水芭蕉とホタルが飛び交う環境へ再生したいと思います。ホタルが住む環境を維持する事もかなり大変な努力が必要ですが、皆で頑張ります。



木の実が豊富

木の実が豊富なのは森が豊かな証拠です。また、動物達を呼ぶ事になるので自然の回生が働き、更に森が豊かになります。



柏（かしわ）の木は百年続く企業の守り木

エフコムの森の広葉樹はコナラが多勢を占めます。その中で柏の木も比較的多く、翌年に新芽が出るまで古い葉が落ちない特性から「代が途切れない」縁起物として柏餅に用いられています。端午の節句に柏餅を食べるのもその由縁です。

百年続く企業を目指すエフコムにとっては正に縁起ものであり、大切にしていきたいと思います。



憩いの場としての活用

社員の憩いの場として活用することを目的として、エフコムの森では、定期的にイベントを開催しています。

2021年9月には山小屋(トイレ完備)も新設された為、社員だけでなく、家族を対象にしたイベント等も積極的に開催し、より一層の活用に向け取り組んでいきたいと思います。



桐の植樹祭の様子

■豊かな森を作るための活動の一環として、2019年から新入社員による桐の植樹祭を毎年開催しています。厳しい寒さと豪雪が特徴的な気候である会津で生み出される「会津桐」は、緻密で美しい年輪を備えた光沢が特徴であり、全国の桐材のおよそ4割が福島県産といわれています。

《2021年の植樹祭の様子》



新入社員代表による
植樹祭開催宣言



2年前に植樹した桐も
すくすくと成長していました

エフコムの森 やま学校の様子

■毎年秋に、エフコムの森活用イベントとして「エフコムの森やま学校」を開催しています。

講師に本職のきこりさんを招いて、本職のきこりさんによる樹木伐採の見学、チェーンソー体験、まさかりでの薪割り体験、ロープを使ったツリーイング、散策路を回るウォーキングなど、多様な活動を行っています。参加者からは、普段の生活では体験できない森での作業を体感できると毎年大盛況です。

《2021年のもり学校の様子》



みんなでラジオ体操



スウェーデンソーチで
焼きマシュマロ



薪割り体験



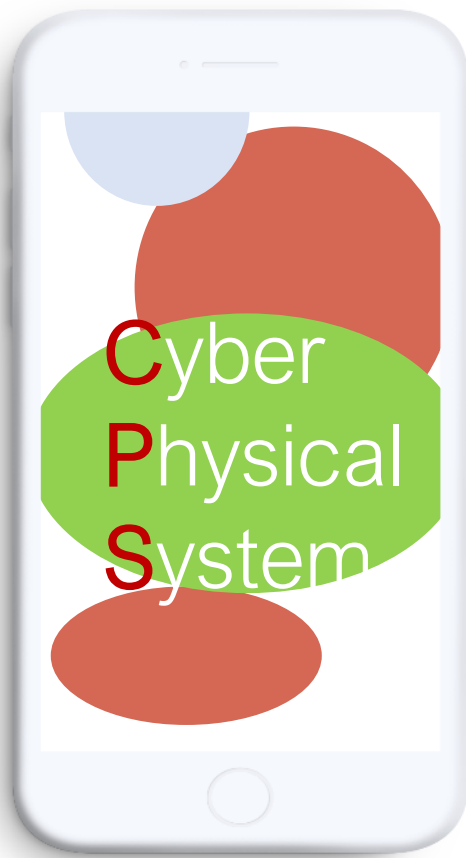
ツリーイング体験



参加者全員で記念撮影

共に育む【エフコムの輪】

(1) エフコムの「R&D戦略」について

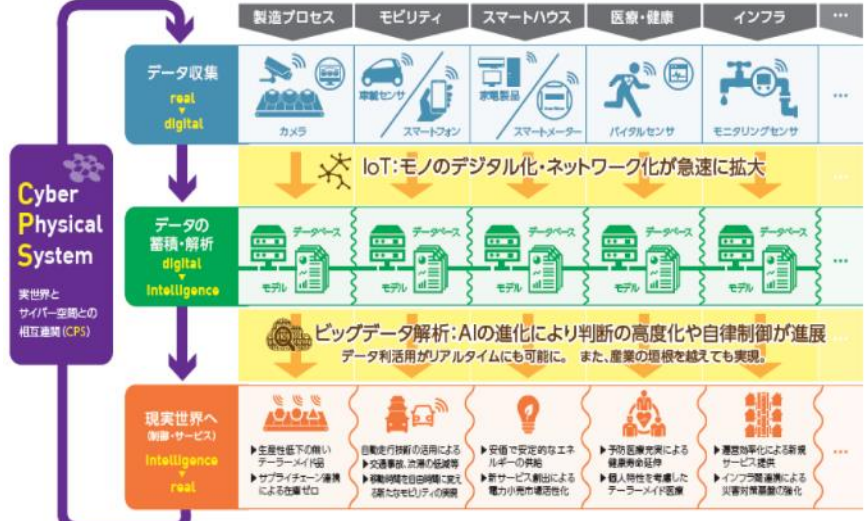


お客様の社会課題解決を担える
要素技術の習得から事業創出を目指します。

データ駆動型社会

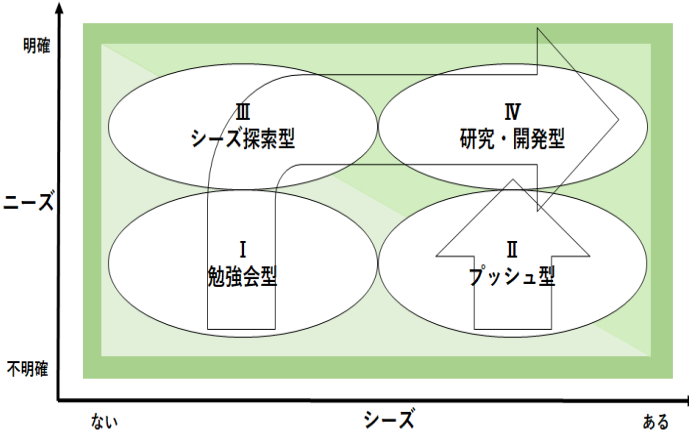
Society 5.0は、仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより社会の課題解決を目指しています。当社でもスマートシティ・スーパーシティの取組みから製造業のデータ解析、小売業のデータ解析に取り組んでいます。データを集積し解析し、フィードバックする、この一連の流れ、CPSそのもののサービスプロバイダーとなる事が社会的責務であると理解しています。

国策であるデジタル化に様々参画し事業化へと進化して行けるように取り組んでいきます。



【R & Dのアプローチと活動】

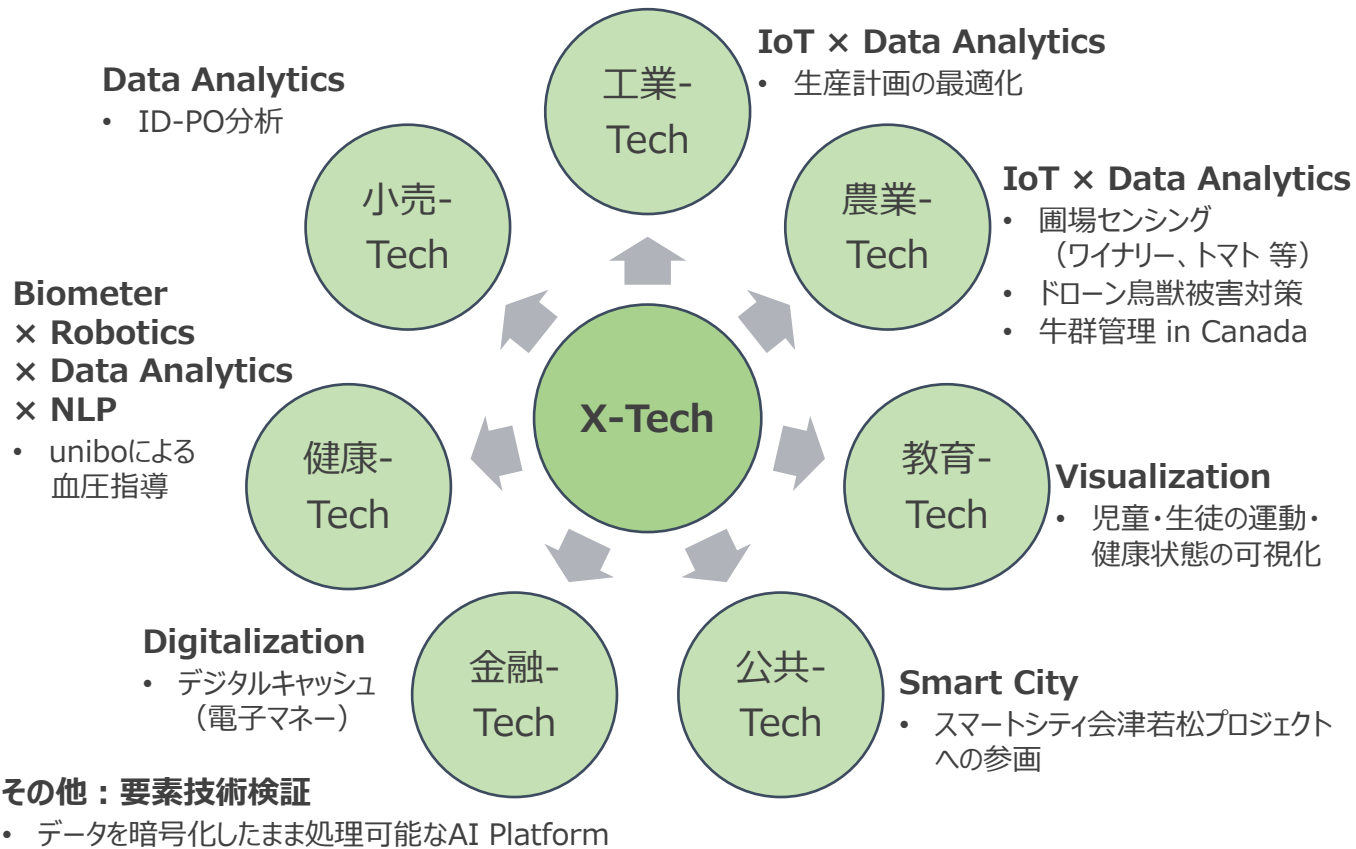
- ミッションステートメント：未来志向の成長戦略を具現化する研究・開発の推進
- イノベーターやイントラプレナー（社内起業家）人財を育成し、オープンイノベーションおよびデジタルトランスフォーメーションによってお客様の期待に応えられるサービスを提供するための推進役となることです。



- 活動：研究・開発へのアプローチを4つの型で推進
- I.勉強会型
既存の社内活動と連携しながら、講師を招聘するなどして勉強会を開催することによりアイデア創造を目指す取組み
- II.プッシュ型
組織や個人のもつ知識や技術などをきっかけとしたアイデア創造の取組み
- III.シーズ探索型
オープンイノベーションによるアイデア創造の取組み

【研究・開発活動のご紹介】

➤ デジタル化が進展する中、様々なジャンルでより付加価値の高いサービスが提供できるよう進化を続けます。



➤ デジタルトランスフォーメーションに向けた地域データセンター像を追求します。



※出典：総務省「地域IoT実装推進ロードマップ（改定）」
～IoT実装による地域活性化・地域課題解決の実現～

福島データセンターの付加価値

- ・ 地域情報のクラウド集積と業際化によるデジタルトランスフォーメーションの地域展開
- ・ 情報の地産地消による地域に有益な情報価値を創出
- ・ 現場で有効な情報活用を提供（IoTは現場とクラウドで形成）

(2) 「一般社団法人あいづ地域振興研究所」の活動



◆主な活動実績

- ①地域振興に関する施策の調査研究事業
 - ・関連企業（富士通他）との連携（2017年度～）
 - ・関連団体（会津地方振興局他）との連携（2019年度～）
- ②地域の経済活動を活性化させる施策の実施に関する事業
 - ・ICT/IoT活用による酒米高品質化事業（2018年度～）
- ③地域の名産物及び特産物の開発と販売の支援に関する事業
 - ・第1回中国国際輸入博覧会での会津産品初出展（2018年度）
- ④地域振興に資する事業体への投資
 - ・柳津観光船(株)様へ出資（2017年度）
- ⑤その他当法人の目的を達成するために必要な一切の事業
 - ・只見線の復旧・復興を応援（2019年度～）

平成23年7月新潟・福島豪雨で大きな被害を受け、現在2021年度中の全線再開通に向けて復旧工事が進められている只見線。当研究所では、只見線の全線復旧を願う地域住民、地元自治体を始め関係団体の方々とともに、復旧・復興に向けた取組みを行って参ります。

- ・会津地域のサステナビリティを応援（2020年度～）

身近なゴミ問題、ポイ捨てを防止しカラスなどからごみの散乱も防げる「ごみ収集庫」を寄贈しました。柳津町様の道の駅や会津坂下町様の野球場などに設置させていただきました。

2017年7月、会津地域を中心に福島県の地域振興を図るため、会津地域の企業及び富士通株式会社様との協業により、福島県河沼郡柳津町に一般社団法人を設立しました。

国内における少子高齢化が進む中、それに加えて、福島県は震災と原発事故の影響という大きな課題を抱えており、未だに風評被害による地域経済への多大なる影響を及ぼしています。

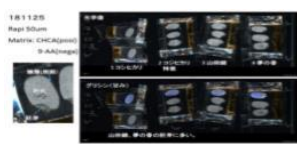
当該法人では、これらの地域課題を解決する手段として、ICT（情報通信技術）を積極的に活用することで、地域振興と経済好循環の確立に寄与していきたいと活動しております。



サステナビリティ



IoT水門の設置



データ分析

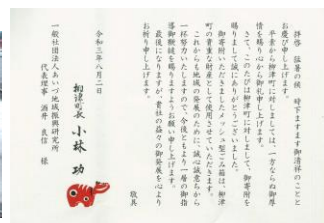
博覧会への出展



只見線復旧・復興



ごみ収集庫



(3) 「ふくしま創生 創・蓄・省エネルギービジネス創出研究会」の活動

地球温暖化や震災、原発問題等を受け、低酸素・循環型・自然共生社会が希求され、福島県はもとより、日本国内外において様々な研究、事業、実証実験等が行われ成果をあげています。

当研究会は、それら個々の取り組みから学び、また会員の持つアイデア、シーズ、ニーズを組合せ、『創エネルギー』、『蓄エネルギー』、『省エネルギー』の3分野におけるビジネスを福島の地において創出し、福島の創生に貢献することを目指し、2015年4月14日に設立いたしました。

会員は、福島県内企業を中心とした産・学・官により構成されています。運営は、補助金等の外部資金に頼らずに、産が運営・活動資金を拠出し、活動を主導する形で運営してまいりました。

今後も、会員一同力を合わせ、福島発のエネルギービジネスの創出を目指し、邁進して参ります。

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



目指せ、福島発の エネルギービジネスの創出！

◇活動事業

1. 創・蓄・省エネルギー関連ビジネスの創出
2. 創・蓄・省エネルギー関連雇用の創出
3. 創・蓄・省エネルギー関連技術者の育成
4. その他、目的達成に必要な事業及び研究

◇2021年度活動

- ・2021年6月に令和3年度総会及び第11回定例研究会（講演会）を開催
演題：太陽と北風
～エネルギー改革への小さな挑戦～
講師：鈴木精一氏
(葛尾創生電力株式会社 代表取締役副社長)
- ・2021年12月頃、第12回定例研究会を開催予定



(4) 「NPO法人 福島医療・ヘルスケアICT研究会」の活動

当法人は、国民に対してICT(Information Communication Technology)により先進的な医学・医療技術を活用した医療サービスを提供するためのソフトウェア開発と、医療改革においてICTが中心的な役割を担う必要があるべきと考え、事業者（産）、医療機関や大学（学）、行政（官）等を連携させて、情報の有効活用を推進する為の活動支援を行うことにより、より良い医療サービスを推進する保健医療福祉地域作りと環境基盤作りに寄与する事を目的として2011年に設立されました。

設立当初から今まで様々な取組（実証実験）を行ってまいりました。

【平静な状況での血圧測定実証実験：測定ブース設置】

- ・放射能積算線量算出アプリに関する共同研究
- ・あいづじげん健康ポイント倶楽部
- ・減塩食品展示会
- ・講演会（抜粋）

「メディカルウォーキングのすすめ」

「食事で本当に病気が予防できる？」

「健康づくりラジオ体操」

「女性に優しい漢方療法

～あなたの知らない漢方医学のおはなし～」

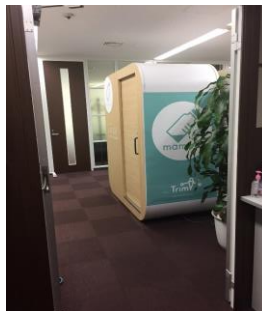
「心と身体を健やかに～高血圧川柳から考える～」

「喫煙と肥満における健康リスクについて」

法人活動10年を迎えた記念のイベントも計画中です。

引き続き、より良い医療サービスを推進できるよう

産、学、官の連携を行い活動してまいります。



【喫煙と肥満における健康リスク講演会】



信頼への取り組み

(1) 品質向上 (ISO9001) への取り組み

当社のシステム部門は、ソフトウェア開発サービスを行う情報サービス業として、品質の重要性を認識し、2001年10月に品質マネジメントシステム（QMS）を制定しました。

2002年6月に、財団法人日本品質保証機構のJQAマネジメントシステム登録の公表と登録マークの使用の認定を受けましたが、2010年3月より日本検査キューエイ株式会社に認証機関を変更し、2018年7月には2015年版適用規格に変更認定されました。

また2021年度は公共ソリューション部を対象部門へ拡大し、より一層品質の向上を図って参ります。

登録組織 : システム本部
医療ソリューション部、第一ソリューション部、第二ソリューション部
登録範囲 : 顧客要求仕様に基づくソフトウェアの設計及び開発・導入
(要員派遣・設計開発を伴わないお客様をフォローするための保守・
アウトソーシング業務は除く)
登録事業所: エフコム本社
関連事業所: 福島JAオフィス
株式会社エフコムマーケティング (ソリューション事業本部)

なお、品質マネジメントシステムの目的は、登録組織のプロジェクトおよびプロセスに対して適用され、品質の作り込みと維持活動を継続的に行うことにあります。



(2) ITサービスマネジメント (ISO20000) への取り組み

当社福島データセンターのシステム運用部門は、2014年にITサービスマネジメントシステム（ITSMS）を制定し、2015年2月にISO20000の認定を取得しました。ISO20000は、お客様のニーズとビジネス要求に合致したITサービスを提供するための一連の仕組みが備わっていることを証明する認証資格です。

登録組織 : 福島データセンター
登録範囲 : 福島データセンターにおけるハウジングサービス

ISO20000を取得することで、当社ITサービスに対するお客様の信用・信頼を高め、サービスの満足度向上に取り組んでいます。



(3) 情報セキュリティマネジメント (ISO27001) への取り組み

当社のシステム運用部門は、2000年に情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）を制定し、2003年9月にISMS（Ver2.0）の認定を取得、2007年9月にISO27001への移行認定を受けました。認定規格は当社のDCサービス部、インフラサービス部の基盤運用およびシステム運用に係わる福島データセンター、会津iDCの業務、要員に適用され、認定に基づく情報セキュリティマネジメント活動を日々行っています。

また福島データセンターは、FISC安全対策基準（設備基準）の認証を受けています。

登録組織 : 福島データセンター、会津iDC
登録範囲 : 受託計算サービスの運用、ホスティングサービスの運用、
ハウジングサービスの運用、クラウドサービスの運用

ISO27001を取得することで、お客様の情報資産を様々なリスクから守り、安定した運用サービスを提供いたします。



(4) クラウドサービスセキュリティ(ISO27017)への取り組み

当社のクラウドサービスは、2019年9月にクラウドセキュリティの国際規格となるISO/IEC 27017に基づいた「ISMSクラウドセキュリティ認証（適用規格；JIP-ISMS 517-1.0）を取得しました。

この規格はクラウドサービスの普及によりクラウド環境のセキュリティ対策の重要性が高まる中で、ISMS情報セキュリティマネジメントシステムをベースにクラウドサービス特有の情報セキュリティ対策にフォーカスした管理策が示されており、当社はこれに準拠したクラウドサービスの運用管理を実施しています。



登録組織 : 福島データセンター
登録範囲 : 福島データセンターにおけるクラウドサービスプロバイダーとしてのIaaSサービスの提供
・エフコム コミュニティ クラウド
・エフコム プライベート クラウド

ISO27001に加えISO27017を取得することで、クラウドサービスのセキュリティ強化につなげ、お客様へより安全で安心なクラウドサービスを提供いたします。

(5) 個人情報保護（Pマーク）への取り組み

当社は1998年10月に個人情報保護マネジメントシステム（PMS）を制定し、1999年2月、一般財団法人日本情報経済社会推進協会のプライバシーマーク付与認定を取得いたしました。

適用範囲は、役員、正社員、契約社員、パート・アルバイトと派遣社員を含む全従業者、部署、拠点においても全社を対象としています。

事業カテゴリである受託開発業務、パソコン・サーバ等を含む情報ソリューションの提供及び保守、アウトソーシングサービス、パソコン講習などにおいて多くの個人情報を取り扱っており、早くから情報保護の重要性を認識した取り組みを実施してまいりました。プライバシーマークの維持は、社内管理や運用の更なる強化をねらいとし、その活動で有用に機能しています。

また、情報サービス業を営む企業として、社会的立場からも本取り組みの意義を理解の下、個人情報保護マネジメントシステム（PMS）に沿った管理・運用体制の整備と共に社員と事業の用に供している個人情報の全てについて適切な取り扱いに努めております。

引き続き、各種関連法の改正対応や社会情勢の変化も考慮して、個人情報保護活動の遂行と顧客満足度の向上を図ってまいります。



データセンターが貢献する サステナブル社会

(1) データセンターの紹介と環境負荷低減

福島データセンターは CO₂ 排出量を抑制し環境への負荷軽減を図るために、電力消費量を抑える取り組みを実施しています。

データセンターの消費電力の約3割はサーバの排熱を処理する冷却に使用されるのが通説となっており、いかに冷却効率を高めるかが消費電力を抑えるポイントとなっています。福島データセンターはサーバの排熱を完全に密閉し排熱だけを冷却するHACS(Hot Aisle Containment System)を導入し冷却範囲を局所化する事により冷却効率を高めています。合わせてDCIM(Data Center Infrastructure Management)との組み合わせにより、排熱量により空調ファンの回転数を最適に制御する仕組みや水冷式空調機の導入で消費電力を削減する仕組みも導入しています。寒冷地のロケーションを活かし空調機の冷媒を外気で冷却するフリークーリングシステム、太陽光発電の活用、敷地の緑化など様々な取り組みにより環境負荷の低減に取り組んでいます。

【福島データセンター概要】



立 地：福島市、敷地面積（9,614㎡）
建 屋：3階建て、免震、延床面積（3,216㎡）
設 備：高規格仕様（高い「信頼性・安全性・可用性」）
J-Tier4 相当
環 境：再生可能エネルギー採用、省エネ設備

<主な認証>

- ・ISO/IEC 27001
- ・ISO/IEC 27017
- ・ISO/IEC 20000-1:2011
- ・プライバシーマーク
- ・FISC安全対策基準（設備基準）
- ・LGWAN-ASPファシリティサービス登録事業所
- ・医療情報システムに関する安全管理ガイドライン準拠
- ・総務省：届出電気通信事業者1-12-366

太陽光発電



太陽光発電をサーバールームで消費

HACSシステム

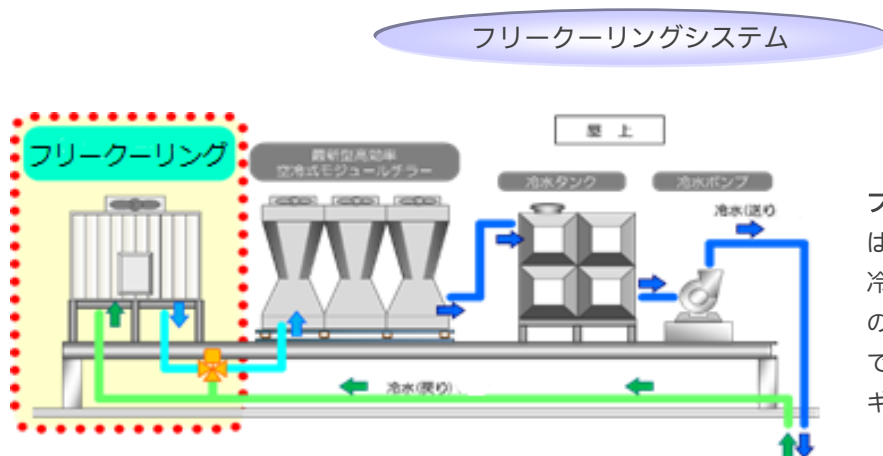


水冷式空調を採用しホットアイルを完全密閉したモジュール型ラックを採用

電力コストは、お客様の負担にもつな갑니다。
高効率な空調機とフリークーリングの活用により、環境にも、お客様のビジネスにもやさしいデータセンター、それが福島データセンターです。

排熱の封じ込みとフリークーリングで、高効率で自然環境にやさしい冷却システムを実現

自然環境にやさしいデータセンターを実現するため、東北地方の寒冷な気候を生かしたフリークーリングや太陽光発電などを取り入れてます。自然エネルギーを最大限に活用することで、CO₂ 排出を可能な限り削減しています。データセンター全体の電力消費量の中で冷却の消費電力量は大きな割合を占めます。そこで、高効率な冷却システムを導入することで電力効率としては、PUE 1.3を目標に排熱の封じ込めと水冷式空調機を採用しました。



フリークーリング(Free Cooling)とは、外気温度の低い中間期、冬期に冷却塔で水冷媒を外気使い冷却。その後チラーで電気を使い定格温度まで冷却することから大きな省エネルギー効果が期待されます。

(2) データセンターが高度に共助し貢献する「F C Aセンター相互応援コンソーシアム」について

新型コロナウイルス感染症発生の初期段階で各社の対策や社員が罹患した際の対応方法などをC P S（FUJITSU Collaboration Place Services）を使用し、情報収集及び共有を行い対策の妥当性確認や気付きを促し会員各社の対策強化に貢献しました。また、2020年4月に任意出席ではありますが、We b会議を用いて各社の状況や対策を再度共有し、更なる対策強化を実施しました。

現在は感染症の蔓延によりWe b会議を活用したコンソーシアム活動にシフトしており、2021年3月のブロック長会議では部会長退任に伴うコンソーシアムの推進、運営方法などについて協議、検討しました。また、4月に全体会議を開催し、運営方法の情報流通、各社の現状共有、及びコロナ禍においてコンソーシアムに求める事などへの意見交換を行い今年度の進め方について合意しました。



2021年8月には約2年ぶりとなる東ブロック会議を開催し感染症対策の新たな情報共有を実施するとともに、ガバメントクラウドやDX潮流など今後の地方DCの在り方についても各社と意見交換を実施しました。

今後も新型コロナウイルス感染症の動向を注視しながら集合形式、We b形式など会議体を選択しながらブロック会を開催し各社のＢＣＰ向上、顔が見える関係性を維持できるよう取り組みます。

当社は東ブロック長及び全体運営を担うブロック長会議のメンバとして今後もコンソーシアム運営に主体的に取り組み、会員各社のBCP向上に貢献してまいります。

(3) 大型ロール紙プリンタ導入(新BPO)について

かねてより東北地区IT企業で初の大型ロール紙プリンタの新設を進めてまいりましたが、このたび無事稼働の運びとなりました。

大型ロール紙プリンタでは、帳票のプレプリントと個人毎のデータを同時に印字する為、プリントサービスのコスト削減や短納期を実現することができます。以下が大型ロール紙プリンタの主な特徴です。

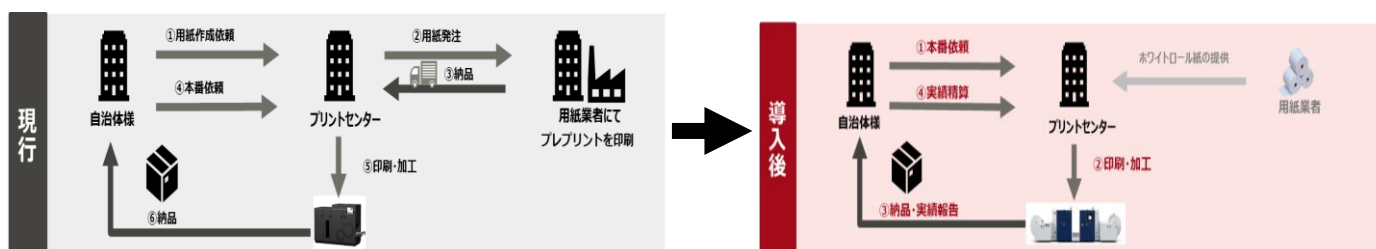
■ 印刷業務の効率化（専用用紙調達からロール紙調達へ専用紙在庫が不要）

【導入前】

- 同じ自治体でも税目ごとに帳票レイアウトが異なる為、税目毎に用紙の発注が必要となります。
- また、法改正や年度が切り替わる度に帳票レイアウトを変更し新たな用紙を発注しなければなりません。

【導入後】

- 大型ロール紙プリンタでは、プレプリントとデータの印字を同時に行うため、作業前の用紙の大量保管が不要になり、用紙素材が同一であれば複数税目でロール紙を共有する事ができます。
- データにて帳票デザインを作成・管理するため、データを変更するだけで用紙校正が可能です。
- 今まで用紙校正にかかった時間を低減し、レイアウトを変更する度に発生した不要在庫を削減できます。



■ 印字品質の効率化

【導入前】

- 今までのNLPでは、トナー付着不良による印字欠けや濃度不良が懸念されていました。印字が欠けてしまいバーコードが読めない、印字が剥がれてしまう等の問題を防ぐため、印刷完了後は作業員による目視確認を実施しております。

【導入後】

- 大型ロール紙プリンタでは、プリンタ内部に設置された複数のラインカメラより印字直後の帳票を読み込み、印刷を行いながら複数検査を自動で実施します。
- 画像検査装置にて出力するデータとラインカメラ（光の量をビデオ信号に変換して出力）で読み込んだ映像の照合を行い、文字欠け、印字ずれ、汚れを検知するとともに各種バーコードの読み込み検査が可能です。



■ SDGsの取り組み

- 大型ロール紙プリンタを導入することで、前述の「廃棄用紙の削減」や「用紙の輸送機会の低減」等使用するエネルギーを削減します。
- 一般社団法人 日本印刷産業連合会によって制定された「グリーンプリンティング認定制度」に適合した大型ロール紙プリンタであり、環境汚染物質の削減や省資源・省エネルギー等 環境配慮を示した最も高いスリースターを獲得した製品となります。

沿革

1980年代

1990年代

2000年代

2010年代

1980年9月 富士通エフ・アイ・ピー(株)と地元有力企業及び個人の共同出資により、資本金5千万円でスタート

【設立：1980年9月12日

株式会社 福島ファコムセンタ としてスタート】



1981年4月に実施された、設立披露パーティの様様

1981年4月 汎用機 FACOM M140F を導入
地元健康保険団体連合会・地元信販会社クレジット業務のソフト開発開始



1980年代

1990年代

2000年代

2010年代

1981年7月 地元タイヤ販売会社「債権・販売・在庫管理」業務処理開始

1981年8月 福島市に福島事務管理センタを開設し、データエントリーマシンXL-40を15台導入

1981年12月 FACOM M140F に F6715（日本語ラインプリンタ）増設

1982年4月 地元健康保険団体連合会・地元信販会社業務委託処理開始
F6317（光学読取装置）導入

1982年7月 資本金1億円に増資

1983年4月 地元石油販売会社「SS業務」、地元診療所「医事会計」業務処理開始
東京都港区新橋の富士通エフ・アイ・ピー(株)内に、東京事務所開設

1983年1月 富士通エフ・アイ・ピー(株)とマシン(FACOM M340R)共同利用開始

1983年4月 地元信販会社のクレジット業務処理に、CDオンライン機能追加

1984年1月 全国ネットワーク（富士通VAN）アクセスポイント基地開始

1984年11月 福島事務管理センターを、支社へ昇格

1985年4月 地元電算センターマシン運用管理業務受託開始

1985年7月 地元キャプテンサービス会社の運用管理業務開始

1985年10月 データエントリーマシン DP9070 にレベルアップ

1986年8月 地元キャプテンサービス会社とマシン（FACOM M340S）共同利用開始

1987年10月 地元テレビ会社「営業放送システム」業務処理開始

1988年12月 ホストマシン FACOM M340U にレベルアップ

1989年5月 郡山本社・福島支社にショールーム開設
福島支社システム部・営業部等読売民友ビル別館へ移転

1989年8月 東京寮設備（19部屋）拡張移転

1989年12月 福島支社エントリー課読売民友ビル別館へ移転

1980年代

1990年代

2000年代

2010年代

1990年4月 会津若松市内に、会津事務所開設

1991年4月 会津若松市内の会津事務所を、会津営業所に昇格

1992年4月 システム開発本部を開設し、野村証券ビル（郡山駅前）に移転

1993年5月 東京事務所を東京支社へ昇格

富士通エフ・アイ・ピー(株)FENICS東京第二センタ（川崎市中原）内に移転

1993年6月 『平成4年度富士通ディーラー全国伸長功労賞（C2ランク1位）』受賞

1995年8月 資本金1億5千万円に増資

1996年3月 福島支社を、福島駅前ユニックスビル（福島市栄町6-6）へ移転

1996年4月 本社を、エディソン・ファコムビル（郡山市堤下町13-8）へ移転



1996年6月 会津若松市内の会津営業所を、会津支社に昇格

1996年12月 通産省『安全対策実施事業所』として認定

1997年3月 通産省『システムインテグレータ企業』として登録

1997年4月 仙台市内に仙台支社開設

1998年3月 通産省『特定システムオペレーション』として認定

1980年代

1990年代

2000年代

2010年代

1998年9月 社名を『株式会社 エフコム』へ変更

“福島から、世界へ羽ばたこう”

◆シンボルマークについて◆

英文のエフを、大空に羽ばたく鳥にシンボライズ。中心に地球を配し、世界を視野に入れた積極性を表現。



きょうから、「エフコム」。

福島から、世界へ羽ばたこう。

本日9月1日、株式会社 福島ファコムセンタは
株式会社 エフコムへ社名が変わります。

代表取締役社長 新 打 品 彰

●社名変更記念・タイズでよう！●

●所属の中から抽選で3名様に
富士通パソコンをプレゼント!!●

株式会社エフコムでは、お客様のニーズに応じ、最新の技術とサービスを提供しています。また、お客様のニーズに応じ、最新の技術とサービスを提供しています。

●通商産業大臣認定
●電子計算機システム安全対策実施事業所
●特定システムオペレーション(SO)認定企業
●システムインテグレーション(SI)登録企業

福島民報 1998年9月1日掲載

1998年12月 西暦2000年問題を機にホストマシン GS8300E/10S 導入

1999年2月 日本情報処理開発協会『プライバシーマーク』取得

1999年4月 会津若松市内に100%子会社である株式会社会津エフコムを設立

1980年代

1990年代

2000年代

2010年代

2000年4月 インターネットプロバイダー事業 e-sense を開始

2000年5月 インターネットステージを郡山市に開設



2002年6月 システム本部で『ISO9001:2000』を取得

2002年10月 仙台支社を、橋本地所仙台榴岡第二ビル
(宮城県仙台市宮城野区榴岡4-5-15)へ移転

2003年3月 経済産業省『システムインテグレーション企業』として認定

2003年5月 ホストマシン GS8300E/10S から、PRIMEFORCE 2105M に入替

2003年8月 資本金2億7千万円に増資

2003年9月 日本品質保証機構『情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)』認証

2004年5月 会津若松市内に会津iDCを開設



1980年代

1990年代

2000年代

2010年代

2004年6月 ホストマシン PRIMEFORCE 2105M から PRIMEFORCE 2115M にバージョンアップ

2004年7月 東京支社を、日通銀座ビル（東京都港区東新橋1-2-8）へ移転

2005年3月 郡山本社、会津iDCで『ISO14001:2004』を取得

2006年1月 情報サービス本部をNBFユニックスビル6階（福島市栄町6-6）へ移転

2006年5月 営業本部をTS郡山本町ビル（郡山市本町1-4-15）へ、東京支社を、MID日本橋堀留町ビル（東京都中央区日本橋堀留町1-7-7）へ移転

2007年7月 株式会社ココム（東京都）と株式譲渡締結

2008年11月 株式会社福交電算システム（福島県福島市）と株式譲渡締結

2010年9月 株式会社エフコム 創立30年を迎える

2011年12月 東京支社を、友泉岩本町ビル（東京都千代田区岩本町2-3-3）へ移転

2012年12月 ホストマシン PRIMEFORCE 2115M の全業務終了により撤去
[当社における創設依頼の汎用機業務の終了]

2013年7月 株式会社福交電算システムを株式会社エフコム福交システムズへ社名変更

2014年9月 福島市内に福島データセンターを開設



2015年3月 福島データセンターで『ISO20000』を取得

1990年代

2000年代

2010年代

2020年代

2015年6月 代表取締役会長 兼 CEOに酒井 良信が就任
代表取締役社長 兼 COOに瓜生 利典が就任

2016年4月 株式会社エフコムホールディングス設立
株式会社エフコムホールディングスの100%子会社となる

2016年10月 エフコムの森 管理・保全開始

2017年4月 関係会社 株式会社エフコムサービシーズ（カナダ）設立



カナダ大使館で実施された、オープニングセレモニーの様様

2019年4月 会津若松市内にFCOM・DIGITAL・LABを開設



1990年代

2000年代

2010年代

2020年代

2019年9月 福島データセンターで『ISO27017』を取得

2020年3月 経済産業省「健康経営優良法人2020(大規模法人部門)」認定

2020年9月 株式会社エフコム 創立40年を迎える

2020年10月 経済産業省「地域未来牽引企業」選定

2020年12月 関係会社 株式会社エフコム福交システムズを
株式会社マイコムへ社名変更（本社を宮城県仙台市へ移転）

2021年3月 経済産業省「健康経営優良法人2021(大規模法人部門)」認定



2021年4月 エフコムベースボールクラブ始動
(旧富士通アイソテックベースボールクラブ)



2021年6月 代表取締役社長に斎藤 正弘が就任

2021年8月 『旧上伊豆島小学校活用事業』契約締結



1990年代

2000年代

2010年代

2020年代

2021年10月 再エネ100%利用を促進する新たな枠組『再エネ 100 宣言 RE Action』に参加

2021年11月 福島データセンターに大型ロール紙プリンタを導入



祈願祭の様子



セレモニーの様子

2021年11月 インターネットステージ跡地に郡山本町オフィスを開設

2021年12月 厚生労働省「くるみん（子育てサポート企業）」認定



認定通知交付式の様子

2022年4月 ドリーム・ラボ上伊豆島 開所予定

TO THE FUTURE...

ビジネスインフォメーション

System Integration 導入システム企画

豊富な業務システムの構築経験を活かし、システムのライフサイクルに基づく最適化をサポートいたします。お客様のニーズにお応えできる専門家集団として、企画・構築・運用をトータルにご支援いたします。

Cloud Service クラウドサービス



最先端のICTと長年培ってきた業務ノウハウから生み出されたビジネスプラットフォームです。従来の枠を超えて、お客様の事業革新とビジネス加速をご支援いたします。

Software Design ソフトウェア開発

多くのソフトウェア開発実績を保有します。IoTによるデータ解析やモバイルデバイスの新たな活用など、先端システムへの対応もいたします。

Business Process Outsourcing 業務アウトソーシング

お客様の業務を定型化し弊社スタッフがお客様に代わり業務運用を担当いたします。お客様は本来の業務に資源を集中する事が可能になります。



Field Support お客様サポート

コールセンター、カスタマーサービスなど、常にお客様の身近な存在でサポートいたします。そしてお客様への安心と満足を提供いたします。



Product Service パッケージソフト開発

当社の長年にわたるシステム開発実績で蓄積されたノウハウを提供することにより、短期間でお客様にソリューションを提供いたします。



Information Devices sales Supply sales

情報機器／サプライ品販売

PC、タブレット、サーバー等の情報機器を提供いたします。

また、プリンタトナーや各種PCアクセサリなどの消耗品も豊富に品揃え、毎日のオフィスワークをトータルにサポートいたします。



Media Archive Service メディア・アーカイブサービス

お客様の貴重なメディア媒体を、安全安心にご指定の媒体へデジタル化いたします。

また、デジタル化されたデータを高度なセキュリティを確保した当社のデータセンターに保管し、クラウド上で検索・編集するサービスもご提供しています。

Security Support セキュリティ対応

日々高度化、巧妙化するサイバー攻撃への対策は、ICTを安心安全に活用していくための大きな課題となっています。お客様のセキュリティ環境が常に最適な状態を維持できるためのご支援をいたします。

会社概要

社 名：株式会社エフコム F-COM Co.Ltd.
本 社：〒963-8520 福島県郡山市堤下町13番8号
代 表 者：代表取締役社長 斎藤 正弘
設 立：1980年9月12日
資 本 金：2億7千万円
売 上 高：93億9千万円（2021年3月期）
従 業 員 数：363名（2021年3月31日現在、正社員数）
関 係 会 社：株式会社エフコムホールディングス
株式会社エフコムマーケティング
株式会社マイコム





＜本報告書の対象範囲＞

(対象期間)

2020年10月1日～2021年11月30日

ただし、一部には2020年10月以前、2021年11月以降の
考え方、取り組み及びデータ等が含まれます。



エフコムHP



報告書バックナンバー

●発行日／2021年12月28日

●発行／株式会社エフコム 福島県郡山市堤下町13番8号 TEL：024(922)2555 FAX：024(922)2696

●発行責任者／代表取締役社長 斎藤 正弘

●発行部署／広報委員会

●企画・編集責任者／執行役員 常松 定則

※ユニバーサルデザインフォント「みんなの文字」を使用しております。